木之本ライオンズクラブ情報

第 99 号

題字
昭和41年5月 滋賀県知事 故 谷口久次郎殿

七本桜

平成12年2月15日発行
木之本ライオンズクラブ
情報・広報委員会
発行所
滋賀県伊香郡木之本町木之本
伊香郡民会館2Fクラブ事務局
TEL.木之本(0749)82－5425

今日も行動しよう 心の奉仕

会長 L 中谷寿雄

昨年七月より、不肖、私のような若輩者が身の程もわきまえず、伝統のある木之本ライオンズクラブの会長という重責をお受けする事になり、今さらながらその責任の重さを痛感しております。

さて、今年度もすでに半期が経過しておりますが、ここに本年度の方針及び現在までの感想を述べさせて頂きます。

今年度会長スローガンといたしまして、『今日も行動しよう、こころの奉仕』とさせて頂き活動を展開しております。現在も未だ不況の中、今までやって来られたライオニズムに則った奉仕活動も大変難しい現状となってきたように思います。そこで、質素倹約を念頭におきながら、特に今年度は奉仕作業（こころの奉仕で行動）を重点に地域の人との合流の奉仕作業も考えながら、良きアクトが出来ればと思っております。

又、諸先輩の皆様が永きにわたって地域の人との多くのふれあいの場を作ってこられた素晴らしいアクトをしっかり守りながら、一つ一つ私たち会員がその輪を広げて行くことが私たちライオンズクラブの使命であるのではないかと思います。

一方、今日においては新入会員入会の困難な時期、現在の会員の中から退会者が出ないようにすることが、今後のクラブ運営の大きな問題ではないかと思っております。ガバナーも言っておられますように、今までの例会の形にこだわらない、何か、個々のクラブの特色を生かして、楽しい魅力ある例会にしていきたいと思います。

今、丁度半期を終わらせて頂き、振り返りますと、青少年健全育成の一貫としての郡内八〇〇人規模に及ぶ、第五回伊香郡内スポーツ少年団交流大会が関係各位の絶大なるご協力のもと盛大に開催され、郡内の子供達、そして大人も、スポーツを通じて多くの地域の人とのふれあいをして頂けた事と思います。

又、子供達が毎年何よりも楽しみにしている、郡内小中学校障害児学級一日バス旅行ですが、今回は、参加者が多く大型バスをチャーターして、北陸への日帰り旅行を実施致しました。出発から帰るまで子供達のいきいきとした姿と、喜びの顔が今もはっきりと浮かんできます。

更には例年通りではありますが、年々足りなくなっております貴重な献血を会員皆様方のご協力によりまして、半期末で一七六、四〇〇ccに及ぶ献血アクトが出来ました。本当にご協力有難うございました。

以上この半期各々のアクトを通じまして感じましたことは、ライオニズムとしての重要性と素晴らしさを痛感致した次第でございます。よって、その責任の重さを今更ながら感じている今日この頃です。

最後になりましたが、前期を無事終わらせて頂き誠に有り難く厚く御礼申し上げます。残る半期、微力ではございますが、誠心誠意その任に取り組む所存でございますので、会員各位の更なるご支援、ご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

ご冥福をお祈り申し上げます

故ライオン斉藤洋征 告別式

弔辞

本日、ここに、今は亡き故ライオン斉藤洋征の告別式が厳かに執り行われるに当たり、木之本ライオンズクラブ会長として、謹んで、今は亡き故ライオン斉藤のご霊前にぬかずき、心からなる哀悼の誠を捧げます。

故ライオン斉藤は、木之本ライオンズクラブをこよなく愛され、しかも非常にすぐれた広い識見を持つ、この上もない熱血漢でありました。

丁度、今から十四年前の昭和六十一年、当クラブに入会された故ライオン斉藤は、平成五年度には保健委員長を、そして翌年の平成六年度には、クラブ員一同の推挙により、当クラブの要である幹事にご就任いただき、大いにその辣腕ぶりを発揮いただきました。

また、二年後の平成八年度には、計画委員長として、当クラブの活性化に大いにご貢献いただいたところでございます。

その間、時として、不幸にも病を得られ、療養の身となられ、何回となく生死の境を歩んでこられました。クラブ員一同は、その都度、一日も早いご全快をお祈りいたしておりました。従って、今回もまた、間もなく、再びお元気になられ、何時ものにこやかな笑顔をみせてもらえるものとばかり思っておりました。

それなのに、こんなにも早くお別れの言葉を申し上げなければならないということは、わがクラブにとりましても、かえすがえすも残念でなりません。

生者必滅（ショウジャヒツメツ）、会者定離（エシャジョウリ）とは、つらい浮世の慣わしとか。祇園精舎（ギオンショウジャ）の鐘の声、寂滅為楽（ジャクメツイラク）に響き渡るとはいいますものの、うたた人の世の無常を嘆かざるをえません。

あなたが、わがクラブに残されたそのご功績は、とこしえに光輝き、永くわがクラブ員一同が景仰（ケイコウ）感謝いたしてやまないところでございます。

ここに謹んで故ライオン斉藤のご冥福をお祈りいたしますと共に、哀悼の誠を捧げ、併せてご遺族とわがライオンズクラブに、永久（トワ）のご加護を垂れ賜らんことを念じつつ、お別れの言葉といたします。

さようなら　ライオン斉藤。

平成十一年十一月三十日
木之本ライオンズクラブ
会長　中谷寿雄

●ライオンの横顔●

L 高谷 勇

この度の異動により居藤政見の交替会員として入会されたL高谷勇を紹介致します。

L高谷勇は昭和二十五年三月生まれの四十九才です。昭和四十三年に滋賀相互銀行に入行され、堅田支店を振出に今津支店、安曇川支店と主に融資畑を経験され、坂本支店次長、マキノ支店長を歴任、平成十一年十月に当木之本支店に赴任されました。湖西地域での勤務歴が長く、各々の赴任地ではお客さまの色々な相談事に耳を傾け、地域密着に努め、取引先との良好な関係を築いてこられました。仕事を通してのスタンスは「自分良し、相手良し、世間良し」の近江商人訓に言う三方良しの姿勢を貫く事にあるとの事です。出身はマキノ町であり性格も大変温厚でねばり強い性格で、お酒も結構強いが、週休二日制を実行しておられます。自宅は今津町で結婚二十四年目の奥さんと二人の息女、長女は今春大学卒業見込、次女は高校三年生で女性に囲まれて円満に暮らしておられます。

経済環境も変革の時期にあり、時代は大きく変わろうとしております。先輩ライオンにご指導賜り、木之本ライオンズクラブの一員として益々活躍されんことを心からお祈り致します。

（居藤政見　記）

各委員長に聞きました

■出席・会則・付則委員会

委員長　L 藤田保男

本年度、出席会則付則委員長という、大役の御指名をいただき、大変恐縮しております。さて、本年度も前年度同様、例会出席率百パーセントを目標にめざしてまいりたいと思います。私自身も皆出席のつもりで、頑張ってゆきたいと思っておりますので、各ライオンの皆様も御協力の程よろしくお願い申し上げます。

又、本年度、内規並細則の一部改正が次のように改正されました。

内規並細則　第一条　役員

五　役員、理事のうち地区役員の指名を受けたときは速やかに欠員とし、（第一副会長、第二副会長、第三副会長は事故があった場合、順次繰上げする）改めて補充候補者を選び理事会の承認を得てそれぞれ役員、理事に就任させる。

以上のように改正がありましたので、各ライオンの皆様の御了解の程よろしくお願い申し上げます。一年間いろいろお世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。

■計画委員会

委員長　L 北川雅弘

ライオンズ入会二年半で、大役をお受けすることになり、一時は不安でした。が、計画委員会の皆様の御協力のお蔭で、郡内スポーツ少年団交流大会、納涼家族例会、旅行例会とつつがなく経過してまいりまして安堵しています。

イベントの実行にあたり、何回も委員会を開き、民謡歌手を呼んだり、雨の中を信楽まで花器を買いに行ったり、子供さんには花火をと委員会の皆様にはお世話頂き、とても感謝しています。納涼家族例会は御家族みんなと楽しい会を開くことができました。

旅行例会は出席者二十五名と少なく、十一月より二月の方が良かったかなと反省しています。それから、新入会員が無く残念な結果となりました。不況の長引く中、これからの会員募集が難しくなる事が心配です。

いよいよ西暦二千年。産業界において、新しいメディアが到来し、従来型の産業で